

京都市立芸術大学芸術資料館收藏品活用展「明治150年・京都のキセキ・プロジェクト」関連事業

叫び声 / Hell Scream

二〇一八年七月二二日(土)ー八月一九日(日)
京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

京都市立芸術大学芸術資料館收藏品活用展／「明治150年・京都のキセキ・プロジェクト」関連事業

叫び声／Hell Scream

明治時代から現在に至るまでの京都の歴史において、京都市立芸術大学の活動は重要な役割を担ってきました。前身である京都府画学校在明治13年に創立されてから今日に至るまで、本学は日本の伝統芸術を継承・刷新するとともに、日本の近現代芸術の屋台骨を支え、世界的にも高く評価される芸術家を数多く世に送り出すなど、日本の芸術文化のきわめて重要な世界への発信基地の一つであり続けてきました。来年度、平成30年が明治改元から満150年の節目の年に当たることを記念して、京都市の主導により「明治150年・京都のキセキ・プロジェクト」が実施されます。そこで、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAでは、毎年夏に開催している京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品展の規模を拡大した特別展として、明治時代から現在に至るまでの京都の街について、本学が創立以降迎ってきた道筋を手掛かりとしながら、美術家の田村友一郎と共に約8ヶ月間の期間をかけて調査・研究を行い、収蔵品を用いた一つの展覧会を作り上げていきます。

田村友一郎は、国内外で活躍する気鋭の作家です。映像・写真・インスタレーション・パフォーマンスなど、多彩な手法を用いて創作を行ってきた田村は近年、土地の記憶や歴史へのリサーチを通して、その場所固有のコンテクストを独自の手法で変換・接続することで、新たな風景として立ち上げるような作品を発表しています。本展では、京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品のうち、明治期に制作された著名な卒業生の作品、京都府画学校在以降の校歴資料、明治時代の写真記録などから、出品する作品・資料を調査に基づいて検討し、田村がこれらの出品作品・資料をも包括するような形での新作インスタレーションを制作するという形式での展示を想定しています。

調査に関しては、「移動」というキーワードを、明治期の本学と現在の本学を結びつける重要な手がかりと位置付けます。明治時代まで遡ると本学の前身である京都府画学校在が、京都御苑から河原町、東山、荒神口、と鴨川を挟んで移転をくり返して、最終的に大正15年に前校舎の東山区今熊野へ辿り着くという、まさに流浪の民のような状態での活動を続けていたことが伺い知れます。そして2023年、京都市立芸術大学はJR京都駅東側エリア、崇仁地域への移転を予定しています。

この移転の計画が立ち上がって以来、移転整備プレ事業として数々の活動が崇仁地域を中心に京都市内各所で実施されてきました。京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAでは移転後の大学のあり方を探る実験的なプロジェクト「still moving」にて、本学と崇仁地域との間を中心にモノ・ヒト・コトの「移動」を軸とする実験を通して、この「移動」がそれぞれにもたらすものについて考察を続けています。本展を一つの展覧会として成立させるまでのプロセスにおいて、明治時代から始まる本学の、京都の街における「移動」から物事を読み解いていくことで、過去を振り返る作業から未来に向けての新たな視座を得ることができると考えています。

京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品活用展／「明治150年・京都の奇跡プロジェクト」関連事業

叫び声／Hell Scream

会期：2018年7月21日（土）-8月19日（日）

会場：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

11:00-19:00・月曜休館・入場無料

企画：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

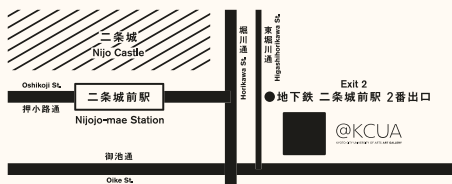
企画協力・出展作家：田村友一郎（美術家）

主催：京都市立芸術大学、京都市

助成：公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

協力：城崎国際アートセンター（豊岡市）、株式会社 TANK、ユカ・ツルノ・ギャラリー

田村友一郎（たむら・ゆういちろう）1977年富山県生まれ。熱海市在住。日本大学芸術学部写真学科卒業。東京藝術大学大学院映像研究科博士後期課程修了。2012年度文化庁新進芸術家海外派遣制度によりベルリン芸術大学・空間実験研究所に在籍。既にあるイメージや自らが撮影した素材をサンプリングの手法を用いて使用し、独自の関係性を読み出し再構築することで時空を超えた新たな風景や物語を立ち上げる。Google Street View のイメージのみで構成されたロードムービー「NIGHTLESS」で第14回文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞受賞（2011年）、同作を第3回恵比寿映像祭（2012年）、第57回オーバークラウド国際短編映画祭（ドイツ、2011年）など世界各所で上映。近年の主な展覧会に日産アートアワード2017、ヨコハマ・ビズセンター 2017での特別展示、「試論：栄光と終末、もしくはその週末 / Week End」（小山立車現代美術館、2017年）、「2 or 3 Tigers」（Haus der Kulturen der Welt、ベルリン、2017年）、「Mode of Liaisons」（BACCバンコクアートセンター、2017年）、「BODY/PLAY/POLITICS」（横浜美術館、2016年）、KYOTO EXPERIMENT 2016、「物語りのかたち」（せんだいメディアアテック、2015年）、メディアシティ・ソウル2014（ソウル市立美術館）、「これからの写真」（愛知県美術館、2014年）、MOT アニュアル 2012「風が吹けば桶屋が儲かる」（東京都現代美術館）など国内外多数。http://www.damianoyorkiewicz.com/



京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

〒604-0052 京都市中京区押小路町238-1

TEL: 075-253-1509 E-mail: gallery@kcua.ac.jp

最新情報は公式サイトをご確認ください：

http://gallery.kcua.ac.jp

